

平成24年度 第1回図書館協議会会議 会議録要旨

	平成24年5月29日（火）16:00～17:00
	会 場：市民会館 第2会議室
出席者（委員）	乙犬委員（会長）・宮川委員・高秀委員・平井委員 清水委員・近藤委員・宮崎委員
（事務局）	寺崎教育部長・内藤図書課長・山下主査・谷口主査・黒氏主査

※教育委員会附属機関合同委嘱状交付式（午後3時30分・中ホール）終了後に開催

1. 開 会

2. 挨 拶

内藤図書課長

平成24年度・25年度2ヵ年の図書館協議会委員として、皆様に先ほど教育長より委嘱状を交付いたしました。この2年間、恵庭市の図書館行政にいろいろご意見を賜りたく、よろしくお願い致します。図書館長を兼務しております寺崎教育部長は、教育委員の会議で挨拶が終了次第こちらに、来ていただき皆さんにご挨拶を申し上げます。

（議事に先立ち、自己紹介を行う。）

寺崎教育部長

今年度から図書館長を兼ねるという形になりましたので、よろしくお願い致します。図書館協議会委員の皆さんには、今後2年間にわたりお世話になりますが、特に今年は読書条例制定があり、現在いろいろと準備をとり進めているわけですが今年度中には仕上げたいので、委員の皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

3. 議 題

1) 会長・副会長の選出について

委員の中から、事務局案があれば提示してはどうかの意見があり、事務局から案として会長は現会長の乙犬委員、副会長は図書館協議会委員の経験年数から近藤委員の両名を提案し、出席された全委員の賛同を得て、選出される。

2) 平成23年度実績報告について 〔事務局 説明〕

○主な図書館実績報告

・おはなし広場（本館・恵庭分館・島松分館）	146 回開催、 1,690 名参加
・BALLOONおはなし会	11 回開催、 234 名参加
・図書館まつり～未来へジャンプ！（9/11 開催）	1,770 名参加
・ブックスタート（生後9・10ヵ月親子）	12 回実施、 547 部配付
・ブックスタートプラス（生後1歳6ヵ月親子）	12 回実施、 551 部配付

・ のびのび教室（生後 5・6 ヲ月親子）	6 回実施、	223 組参加
・ 上映会（週 2 回 水・土）	95 回開催、	1,054 名参加
・ 子ども読書の日記念事業（4/23～5/23、展示・人形劇・映画会）		176 名参加
・ 総合学習の支援	15 件実施、	504 名参加
・ 家読推進事業（3/10 開催）		48 名参加
・ 恵庭市小中学生調べる学習コンクール（9/12～10/14 募集）		619 名応募
・ おはなし広場（夏休み・冬休みスペシャル）	2 回開催、	229 名参加
・ 本の修理体験講習会（7/14・1/26）	2 回開催、	26 名参加
・ 大人のための朗読会（8/7・12/11）	2 回開催、	60 名参加
・ 図書館ボランティア読み聞かせ講演会（2/22 開催）		21 名参加
・ 団体利用受入事業（幼稚園、学童クラブ等）	13 件実施、	458 名参加

○主な図書館利用状況（市立図書館・学校図書館）

・ 貸出状況（本館・恵庭分館・島松分館）	利用者数 126,168 名、貸出数 629,333 名
・ 団体貸出状況（ 〃 ）	利用団体数 91 団体、貸出冊数 15,963 冊
・ 登録者状況（ 〃 ）	42,118 名
・ A V 利用状況（6 箇所）	4,457 件
・ 蔵書冊数の現況（本館・恵庭分館・島松分館）	286,791 冊
・ 予約、リクエストサービス状況（本館・両分館・インターネット）	受付件数 35,531 件
・ ファレンス（本館・恵庭分館・島松分館）	〃 22,670 件
・ 小学校学校図書館の現況	貸出冊数 270,241 冊、蔵書冊数 86,273 冊
・ 中学校学校図書館の現況	〃 37,428 冊、 〃 49,884 冊

○質疑・意見交換（要旨）

会 長 昨年に比べ参加人数が少ないところが見受けられるが、これは偶然なのか。

事 務 局 おはなし広場で参加人数が減少しているが、その理由の一つには学校図書館ボランティアの方々も読み聞かせ会をしていただいているが、入れ替わりがあり回数減となったことが考えられる。

会 長 そうと致しても、事業報告を聞かせていただいて非常に多彩な事業が取り組まれており、市民の方々との全体の中で良くやっていただいていると改めて感じさせていただいた。ありがとうございます。

3) 平成 24 年度事業計画について 〔事務局 説明〕

○主な事業項目

- ・ 恵庭市立図書館サービス計画の推進 ～ 黄金ふれあいセンターへのブックステーション整備
- ・ 恵庭市子ども読書プランの推進
- ・ 児童サービスの充実 ～ ブックスタート及びブックスタートプラス事業による乳幼児の読書、「家読」普及事業の推進

- ・開館２０周年記念事業 ～ 講演会、人形劇公演等を開催
- ・学校図書館活動の推進 ～ 朝読、家読の推進、学校司書の継続配置、学校図書館蔵書の整備充実、小中学生調べる学習コンクールの開催
- ・図書館施設及び設備の整備
- ・「（仮称）読書のまち推進条例」の制定

○図書館関連予算 [事務局 説明]

・図書館費	114,295 千円	（前年度比較 6,288 千円増加）
・学校図書館費	36,736 千円	
合計	151,031 千円	

○質疑・意見交換（要旨）

会 長 何かご質問・ご意見はございませんか。ないようですので次の議題に入ります。

４）（仮称）読書のまち推進条例制定について [事務局 説明]

- ・恵庭市は、施策事業の継続や改善によるステップアップを図るとともに、いつでもどこでもだれでもが本に親しみ、読書を楽しむまちづくりを進めることが必要なことから生涯各期にわたり読書活動の拠り所となる「（仮称）読書のまち推進条例」の制定に向け取り組む。
- ・条例制定の基本的な考え方及び方向性として家庭・地域・学校・行政が一体となって読書のまちづくりに取り組むこと、効果的かつ継続的な読書推進を目指すこと、本市の基本姿勢と目標を明確にしていくこと、強要性を持たせない社会に働きかける理念型条例とすること、市民の意見を条例に反映させるため市民ワークショップ・パブリックコメントを行い読書推進に対する市民意識の高揚を図ること。
- ・条例制定までの工程において、市民ワークショップを４月から６月に延べ５回ほど開催することとし、現在２回目を終えたところであり３回目は６月７日（木）に実施する。ワークショップメンバーは１０名とし、市民団体・学校教育・福祉・町内会等の活動に関係する方々と公募市民で構成されており、条例の目的や盛り込むべき内容等について意見交換する。

○質疑・意見交換（要旨）

会 長 ワークショップの構成メンバーは固定ということなのか。

事 務 局 各団体等からのご推薦と一般公募による１０名により構成され、固定となっている。

会 長 パブリックコメントは一般市民の方々から、更に意見を集めることとなるのか。

事 務 局 市のホームページに公表を行い、市民から幅広く意見や提言の募集を行ない、それらの意見等を考慮しながら条例の最終案を決定していくこととなる。

会 長 全道初ということでもあり、立派な条例を策定していただきたい。

5) 平成23年度図書館窓口等業務委託実施状況評価について [事務局 説明]

- ・平成23年度から窓口等業務を(株)図書館流通センターに委託しているが、適正執行の確保や窓口サービス等の向上を図るとともに、その結果を業務改善等に反映するために評価要領に基づき業務の実施状況进行评估する。
- ・評価方法の評価区分はAからEで評価しAは優れている、Bはやや優れている、Cは普通、Dはやや劣っている、Eは劣っているとするランク区分があり平成23年度は3回にわたり評価を実施した。
- ・評価は、評価項目ごとに評価を実施し総合評価ではBとなる。

○質疑・意見交換(要旨)

会 長 何かご質問・ご意見はございませんか。よろしいですか。

4. その他

事 務 局 社会教育課から生涯学習推進協議会委員の推薦がきており、図書館協議会委員の中からお一人を選んでいただくこととなりますが、後ほど、調整させていただきたいと思います。

会 長 最後に何かございますか。

委 員 家読に関する講演会の時期ですが、3月の冬場の集まりはよくないと感じており考慮してほしい。この家読については恵庭市の一つの事業として大きく書かれているところですが、何かされていますか。

事 務 局 昨年度は「家読ノート」というものを作成し各小中学校に配付いたしました。また、講演会の参加人数が少なかったのは、市内の行事と重なったことが一因かと思います。今年度は十分に日程調整を行い、日取りを決定していきます。また、家読は、家庭読書で得られる効果を狙っているところもあるわけですが、今年は、去年の反省を踏まえ6月にその「家読ノート」の活用の仕方、家読の説明を各学校に行いながらノートの必要希望数を学校側から出していただき、夏休み前に小中学校にリストとともに配付することとしています。

会 長 最後になりますが、市民のための図書館はいかにあるべきか。読書の実績をどのように上げていくかという点について、日頃から関心をお持ちいただき、ご意見を述べていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

本日はこれを持ちまして終了となります。お疲れ様でした。

5. 閉 会

(午後5時00分 終了)